

北杜市立泉小学校・・・7月17日（木）訪問

訪問者：渡邊 昭二郎

泉小学校は、山梨県の北西部、「山紫水明」の地として知られる北杜市大泉町に位置しています。学校教育目標に《郷土を愛し夢を持ち続けながら未来を拓く》「かしこくゆたかにたくましい児童の育成」を掲げ、「よく考え進んで学ぶ子」「心豊かで助け合う子」「たくましくじょうぶな子」の育成を目指しています。また、創立以来、家庭の教育力や地域の協力を基盤とし、恵まれた大自然を教材として取り入れながら、心身共に健康で、自立して社会を支える力を育む学習活動を展開しています。

今回は、芸術身体教育コース4年の齊藤愛梨咲さんが、4年生の教室で教育ボランティアとして活動している様子を訪問しました。理科の授業で育てているゴーヤ畑の草取りでは、一人一人の様子を把握しながら、「この草を取ろうか」と、優しく声をかけている姿が印象的でした。子どもたちとのやりとりからは、愛梨咲さんが慕われ、頼りにされていることがよく伝わってきました。



「いっしょにサッカーをして遊んでくれたよ!」

児童の気持ちに寄り添いながら学習を支援する齊藤さんの様子



「だれにでも、とてもやさしい先生だよ!」

【教育ボランティア学生インタビュー】

「教育ボランティアをやってみようと思ったのはなぜですか？」

教育実習を経て「教員になりたい」という思いが強まり、教壇に立つ前に現場の様子をより深く知りたと思ったからです。また、子どもと関わる経験を重ね、指導力を高めたいと思ったことがきっかけです。

「教育ボランティア活動を通じて気づいたことや、受け入れ先の先生方や子どもたちから学んだことは何ですか？」

様々な学年の児童と関わり、一人一人の個性や発達段階に応じた関わり方を学びました。また、先生方の柔軟な対応や、子どものやる気を引き出す声かけの工夫など、日々の実践から見て学ぶことが多いです。

「これから教育ボランティア活動を始めようと考えている学生へのアドバイスは？」

教育ボランティアは、教育現場のリアルを体感し、子どもと関わりながら学べる貴重な機会です。また、進路や理想の教師像を考える上で大きなヒントになると思います。

【石川 博之校長先生のお話】

昨年度に続く活動となった学生ボランティアです。率先して児童と関わり、その積極的な姿勢が大変印象的でした。活動が進むにつれ、状況に応じて自ら考え、柔軟な対応ができるようになり、児童の中にすぐに馴染む明るく穏やかな人柄が光っていました。IT授業では机間巡視を行い、戸惑う児童に的確な声掛けを行うなど、安心感を与えていました。さらに、休み時間には児童からの誘いに快く応じ、校庭で交流を深める姿が見られました。空き時間にはプリントの丸付け作業など裏方の活動にも熱心に取り組み、関わった教職員からも多くの感謝の言葉が寄せられています。これらの姿から、学びを深めながら児童との信頼関係を構築する姿がとても高く評価されます。これからの活躍も期待しています。

教育ボランティア活動を受け入れ、様々なご配慮をいただいている泉小学校の先生方に感謝いたします。